

2013年3月期第2四半期決算説明会



2012年11月19日

本日も説明する内容

◇ 2013年3月期 第2四半期 決算概要

◇ 中長期成長戦略

本⽇ご説明する内容

◇ 2013年3⽉期 第2四半期 決算概要

◇ 中長期成長戦略

企業集団の概要

2013年3月期 第2四半期 連結子会社

	12年3月期	13年3月期 第2四半期
日本	10社	10社
米州	4社	4社
欧州	2社	2社
アジア	11社	13社
計	27社	29社

2013年3月期 第2四半期

2013年3月期 第2四半期 連結決算

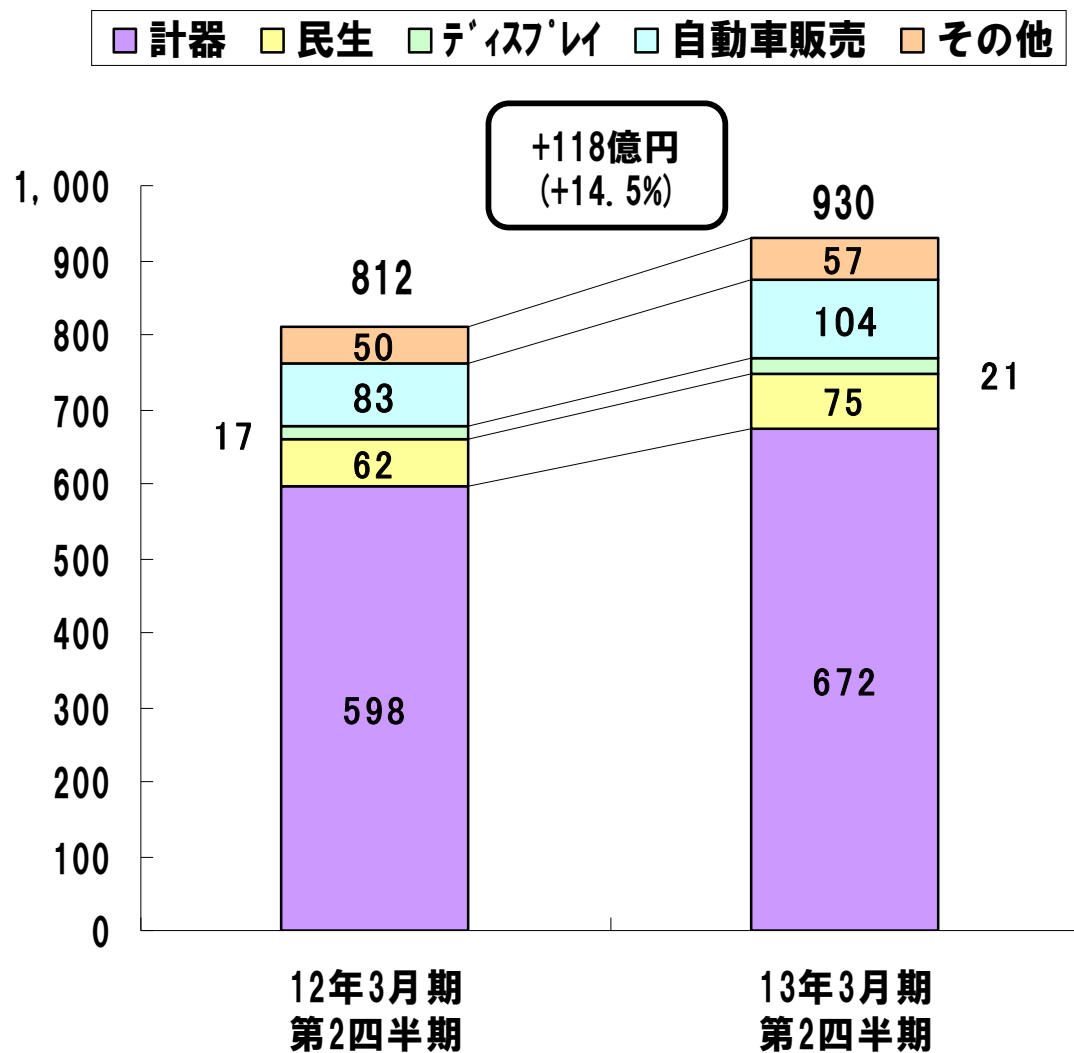
単位：百万円

	12年3月期 第2四半期累計	13年3月期 第2四半期累計	増減率
売上高	81, 242	93, 082	+ 14. 6%
営業利益	6, 837	5, 836	△ 14. 6%
経常利益	1, 865	5, 001	+168. 1%
当期利益	451	2, 817	+524. 7%
一株利益	7. 87円	49. 18円	—
為替 (USドル)	79. 75円	79. 40円	0. 35円高

2013年3月期 第2四半期

事業別売上高

単位：億円



・ 計器 + 74 億円

四輪車用計器が増加。

・ 民生 + 13 億円

アミューズメント向け基板ユニット等
が増加。

・ 自動車販売 + 21 億円

新車販売等が増加。

・ その他 + 7 億円

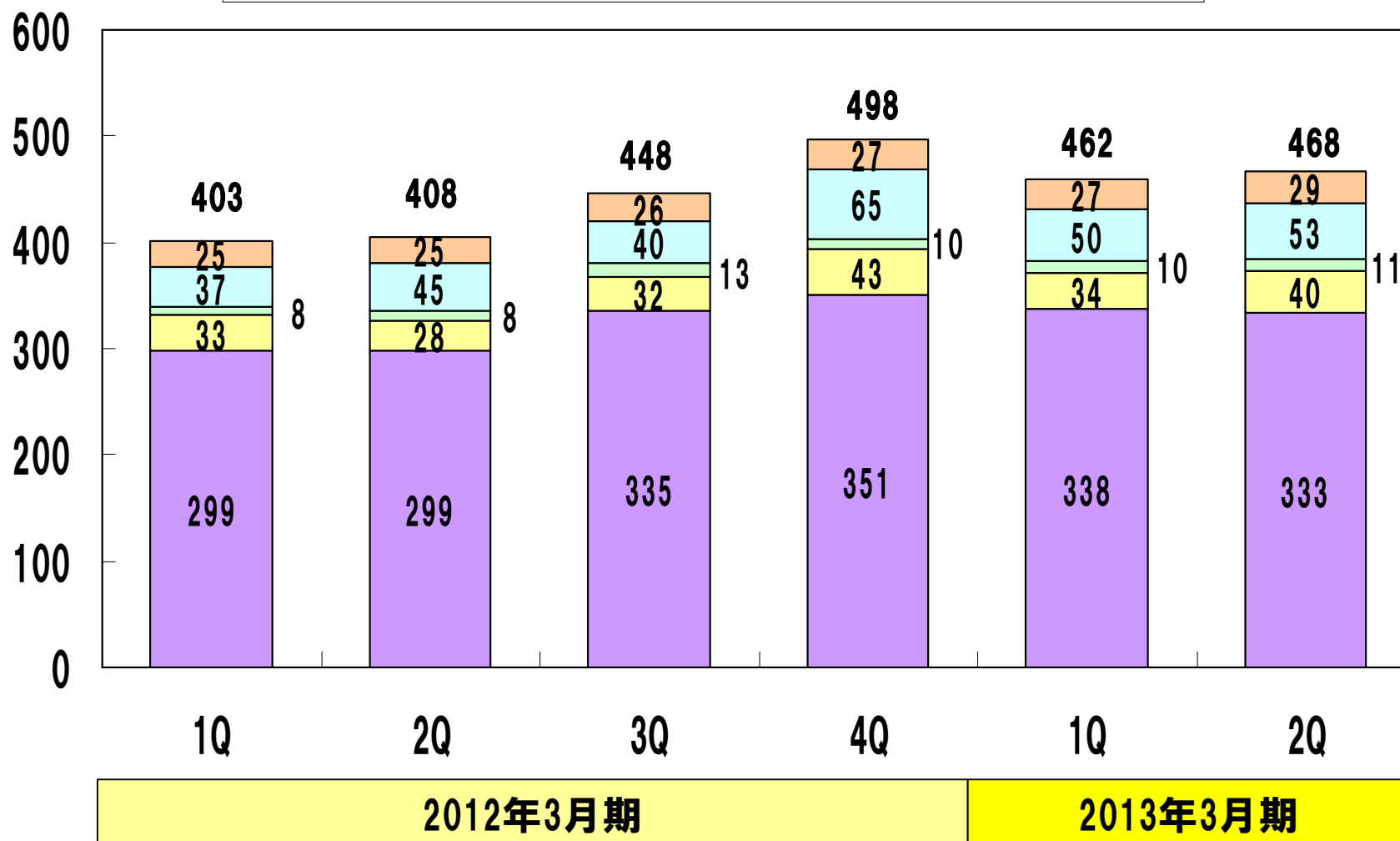
ソフトウェア開発・販売、樹脂材料
加工・販売、貨物運送等が
増加。

2013年3月期 第2四半期

事業別売上高（四半期別推移）

単位：億円

計器 民生 ディスプレイ 自動車販売 その他



2013年3月期 第2四半期

事業別売上高（計器）

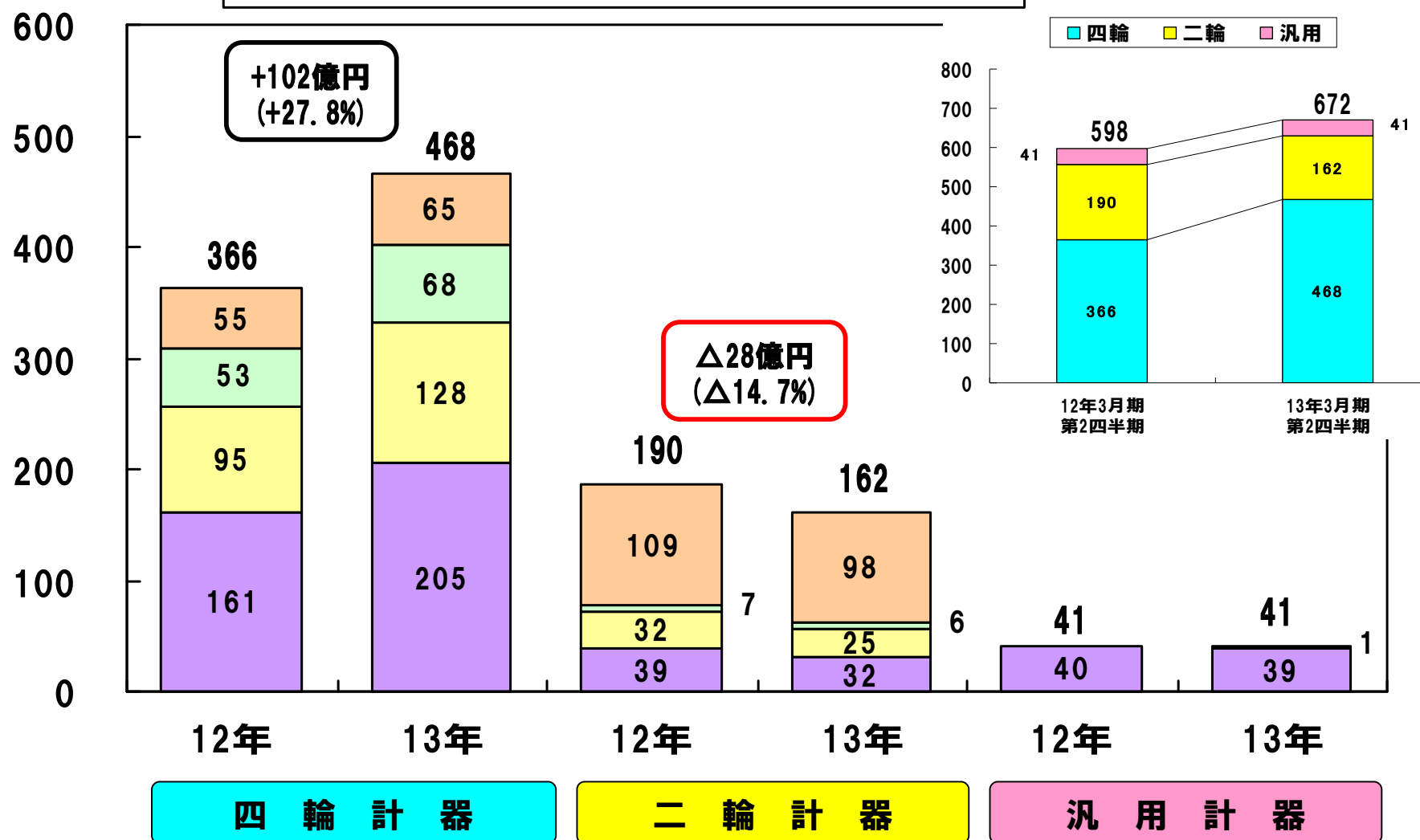
単位：億円

日本

米州

欧州

アジア

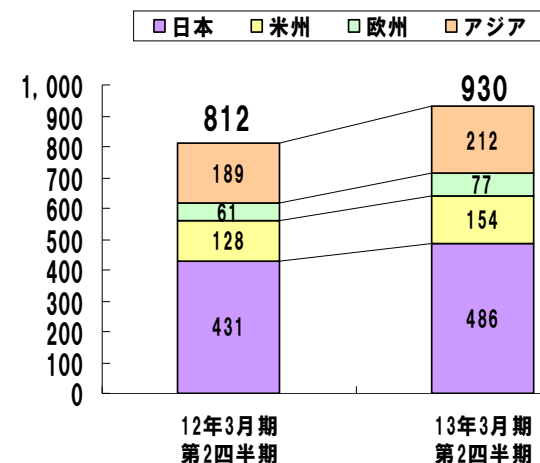
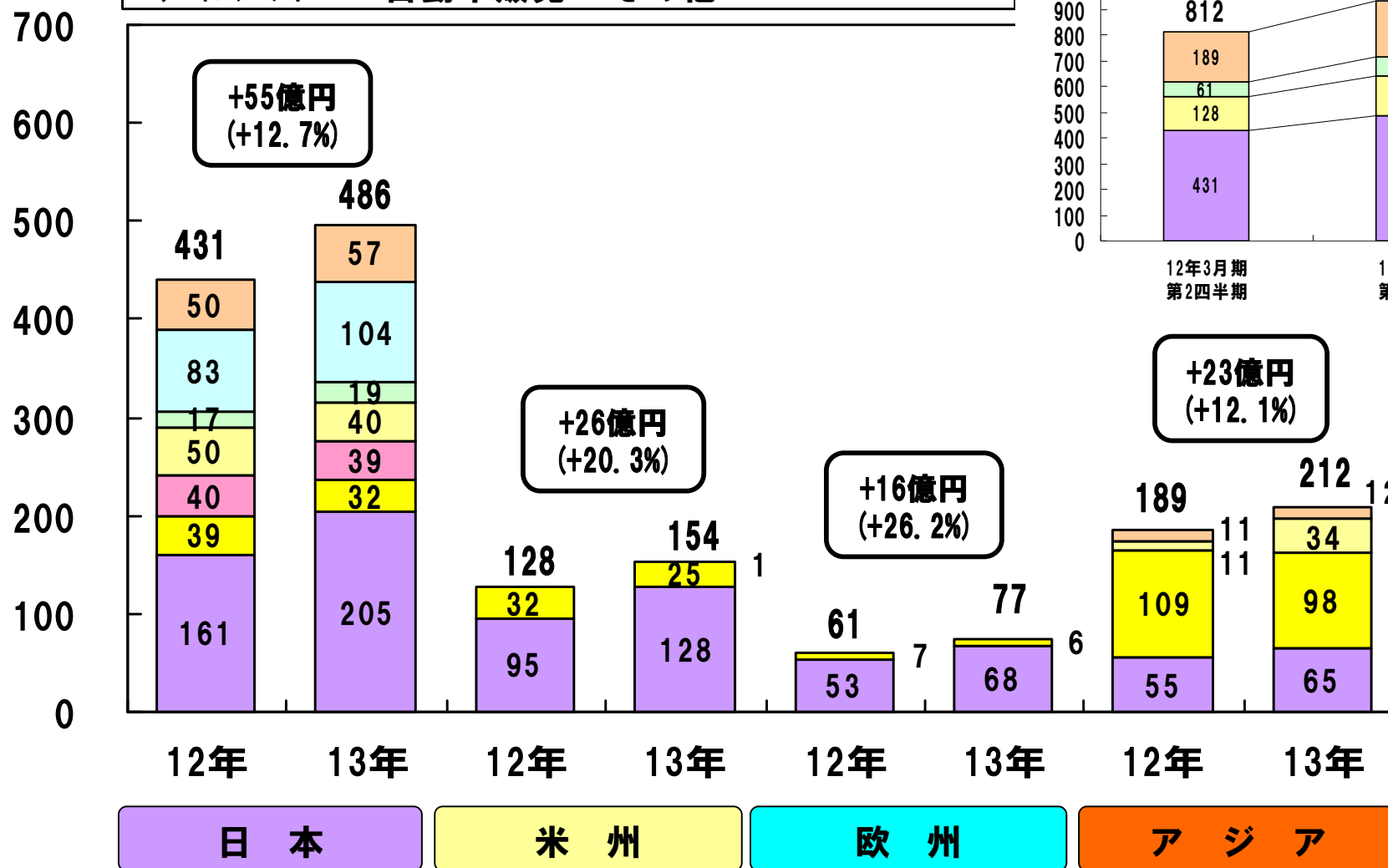


2013年3月期 第2四半期

所在地別売上高（事業内訳）

単位：億円

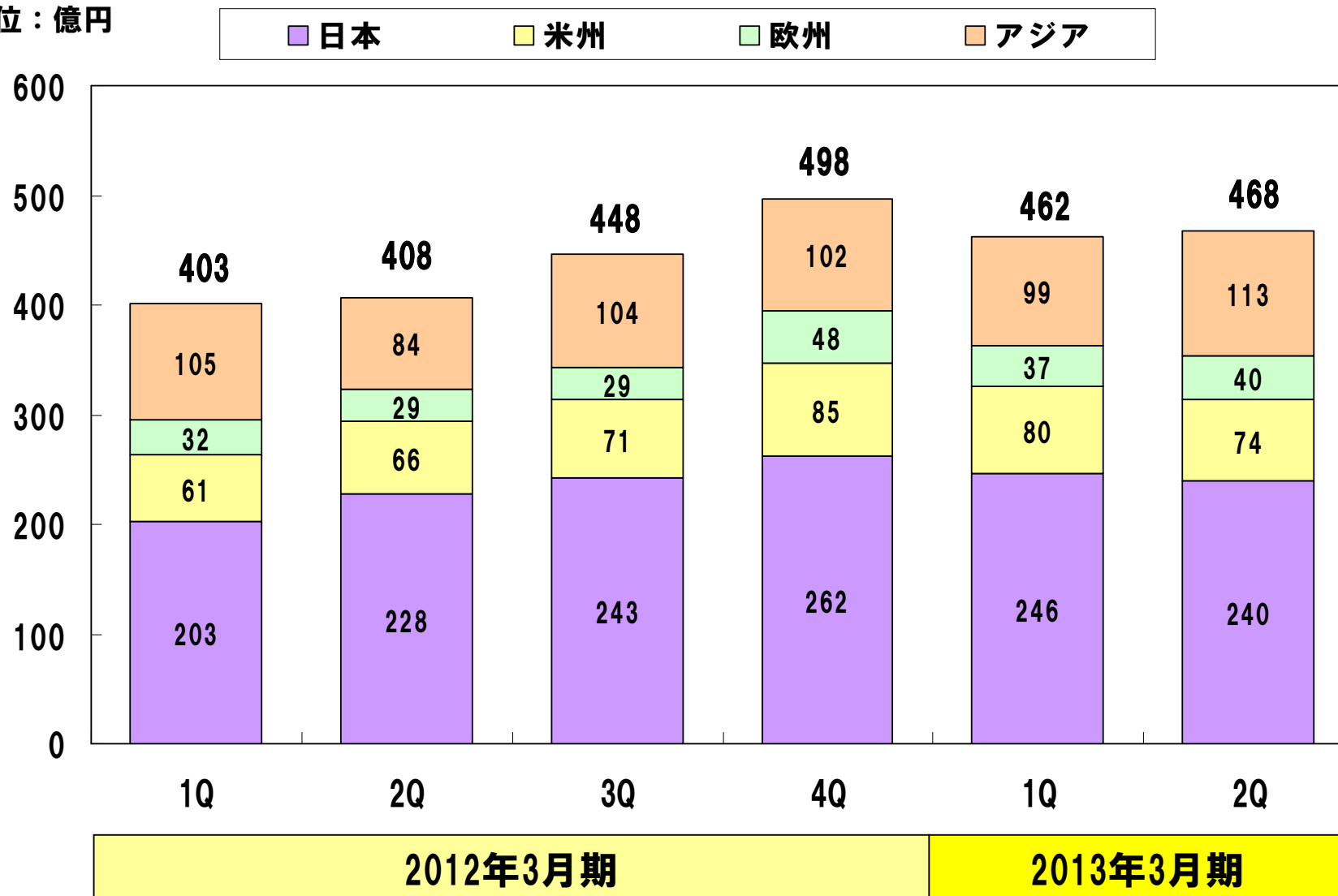
■ 四輪 ■ 二輪 ■ 汎用 ■ 民生
■ デイスプレイ ■ 自動車販売 ■ その他



2013年3月期 第2四半期

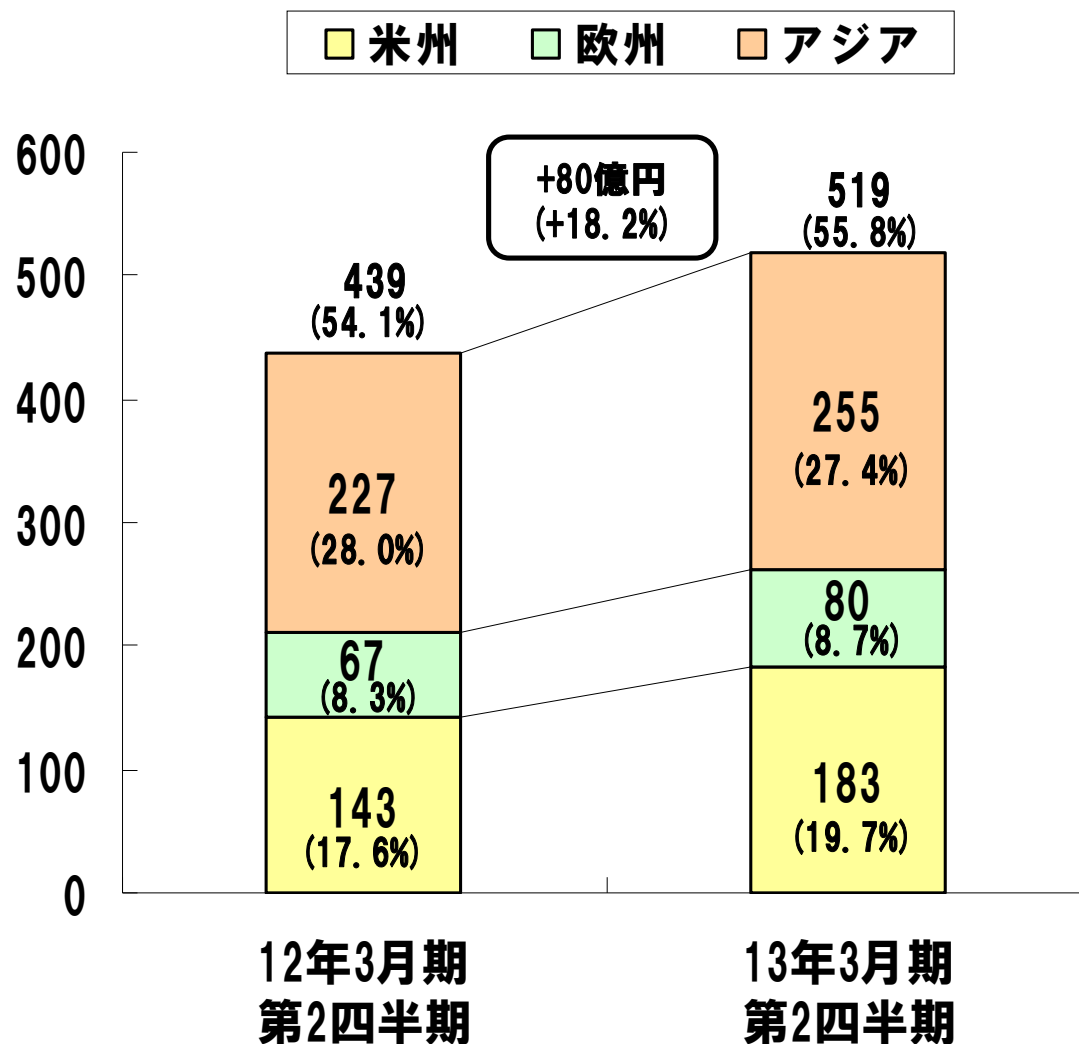
所在地別売上高（四半期別推移）

単位：億円



海外売上高

単位：億円 （カッコ内は連結売上高に占める海外売上高の割合）



・ 米州 +40億円

北米の四輪計器等が増加。

・ 欧州 +13億円

四輪計器等が増加。

・ アジア +28億円

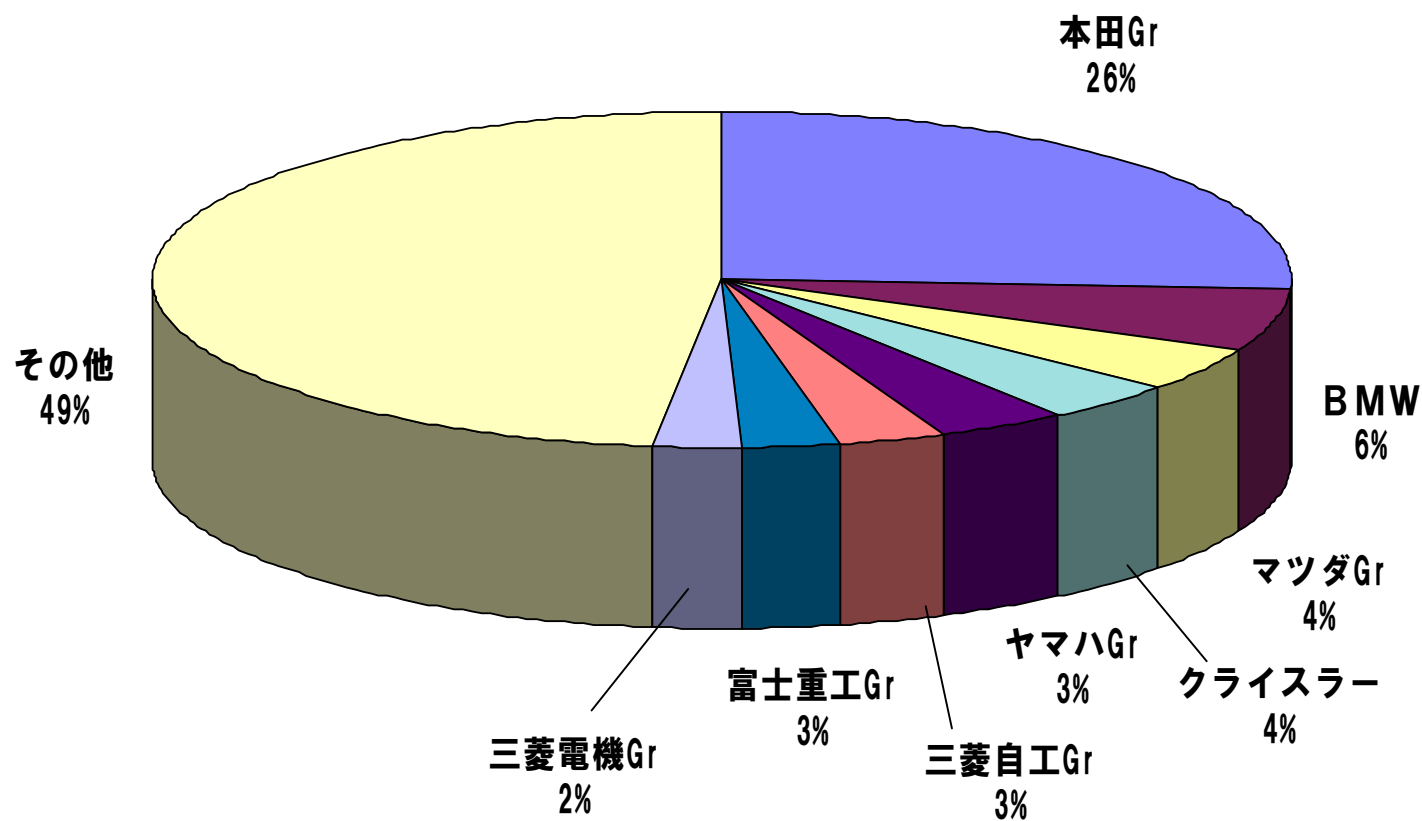
四輪計器等が増加。

2013年3月期 第2四半期

得意先別売上構成

2013年3月期 第2四半期

富士重工が9位から7位に。

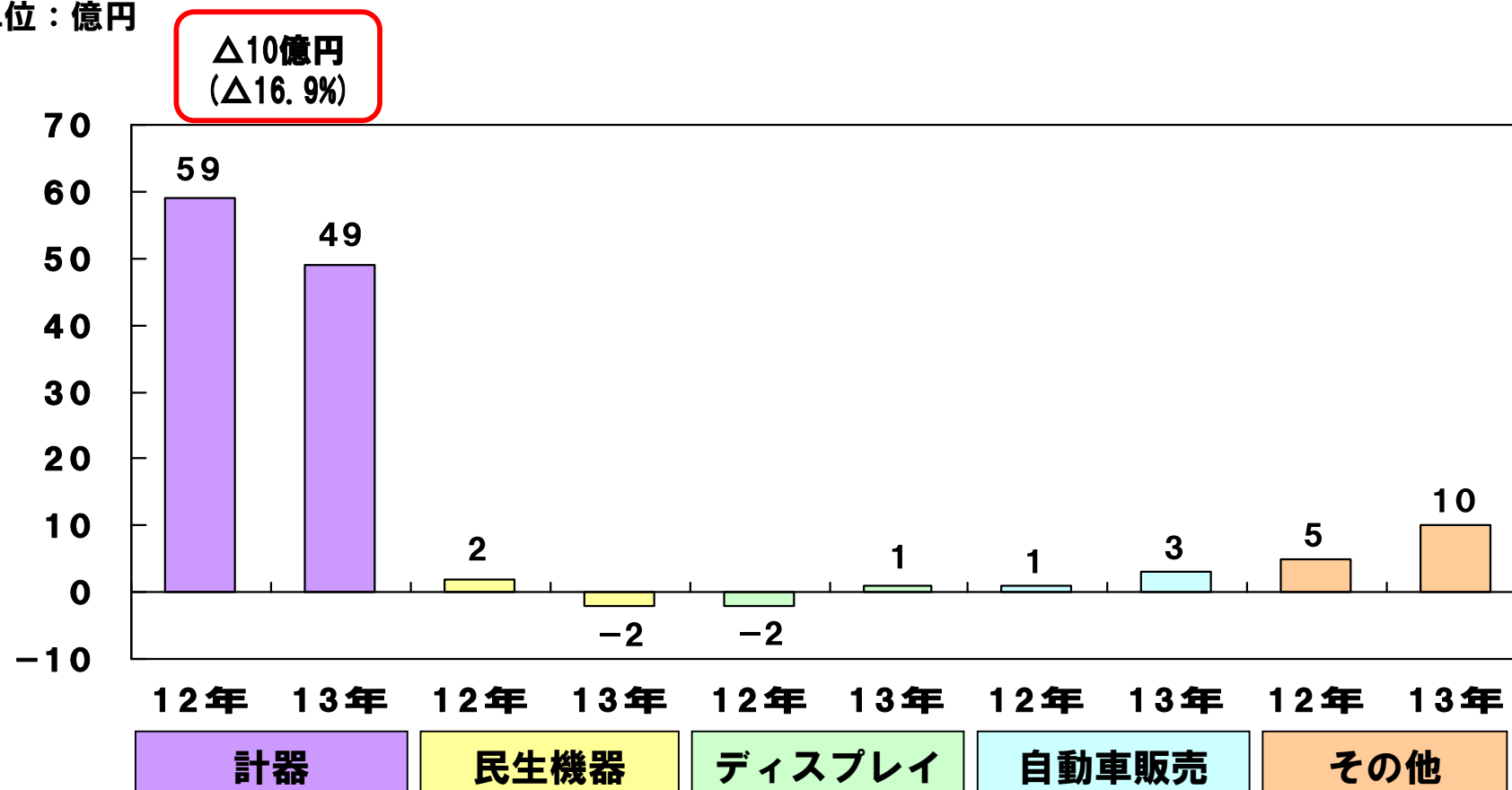


2013年3月期 第2四半期

事業別 営業利益

	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期	増 減
営業利益	68 億円	58 億円	△ 14.7%

単位：億円

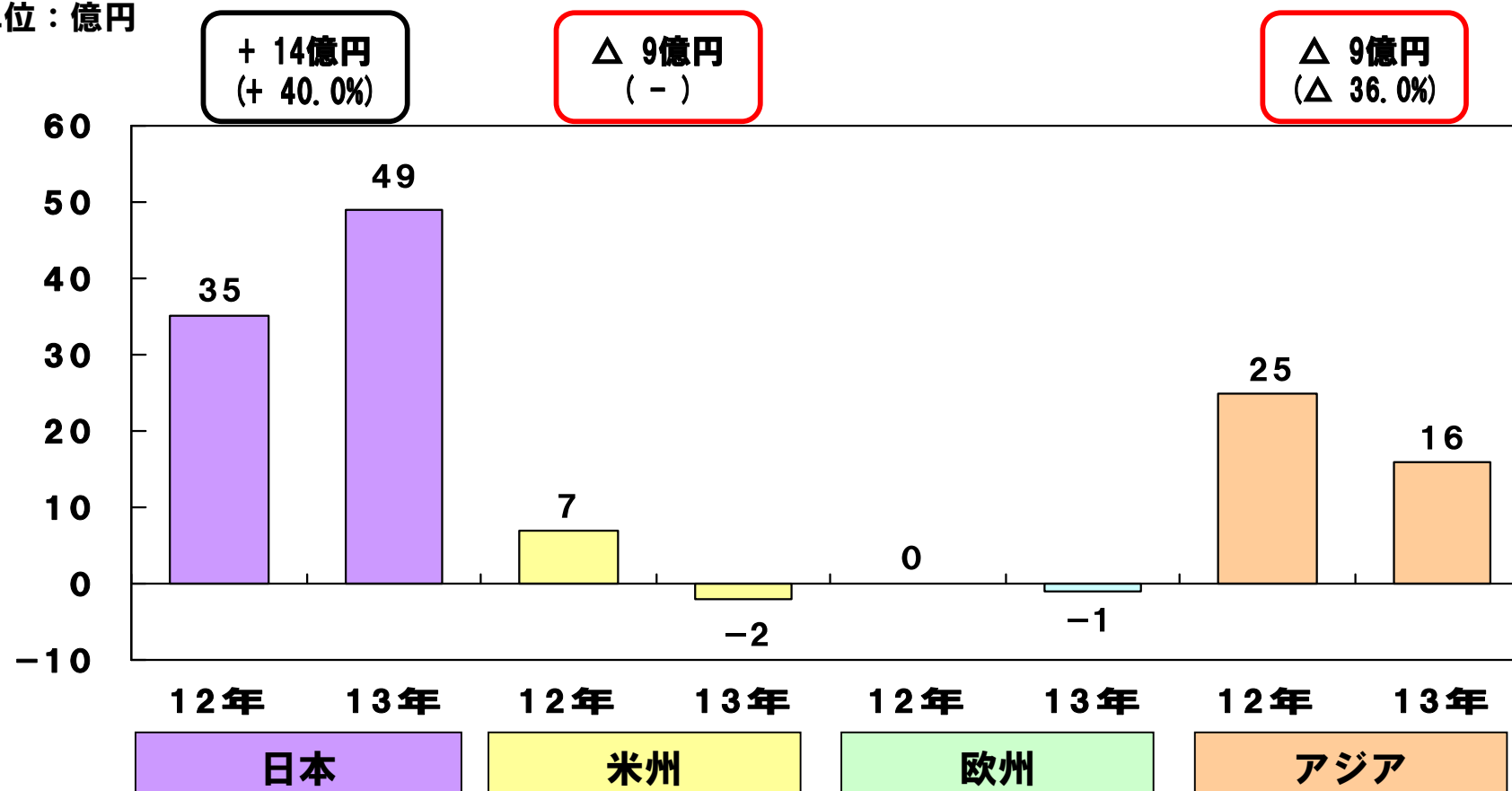


2013年3月期 第2四半期

所在地別 営業利益

	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期	増 減
営業利益	68 億円	58 億円	△ 14.7%

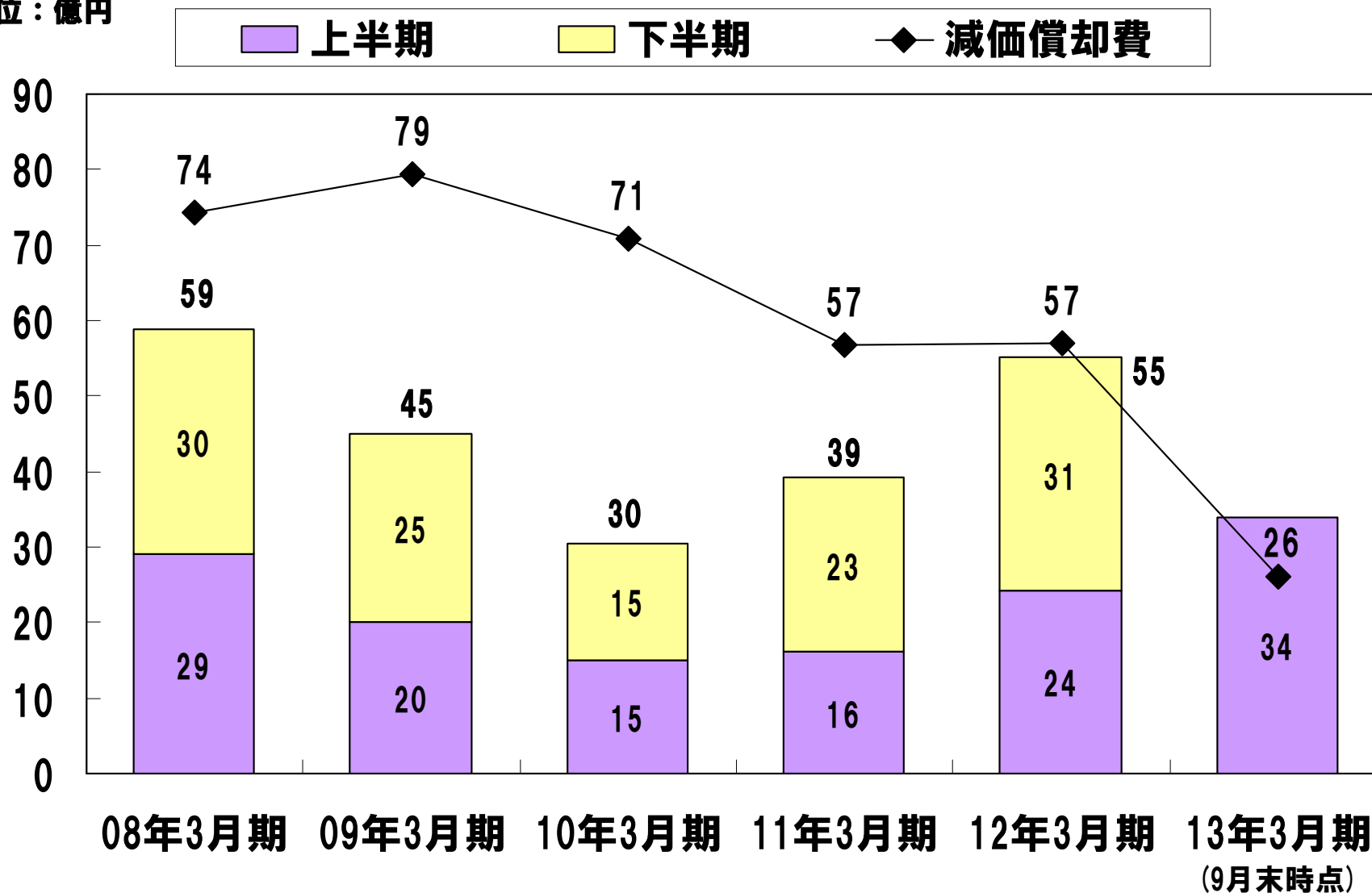
単位：億円



2013年3月期 第2四半期

設備投資額・減価償却費 推移

単位：億円

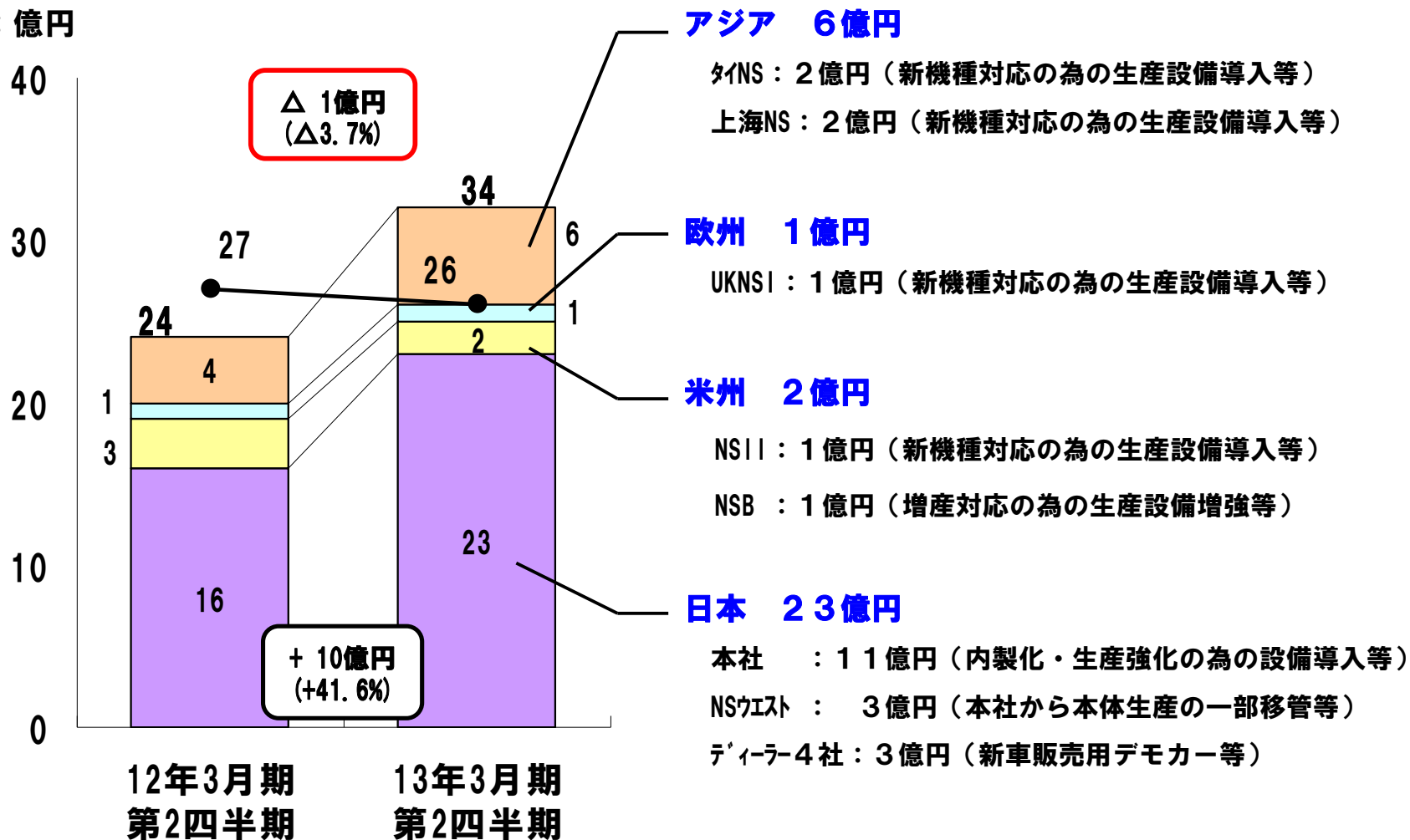


2013年3月期 第2四半期

設備投資額・減価償却費

日本 米州 欧州 アジア 減価償却費

単位：億円



為替レート（期中平均）実績

単位：円

	12年3月期 第2四半期	13年3月期 第2四半期	レート差	%
USドル	79.75	79.40	0.35 円高	△ 0.4%
ポンド	129.25	126.24	3.01 円高	△ 2.3%
バーツ	2.65	2.56	0.09 円高	△ 3.4%

為替感応度

USドルに対する 1円 の変動につき、営業利益で 1.64 億円／年

2013年3月期 第2四半期

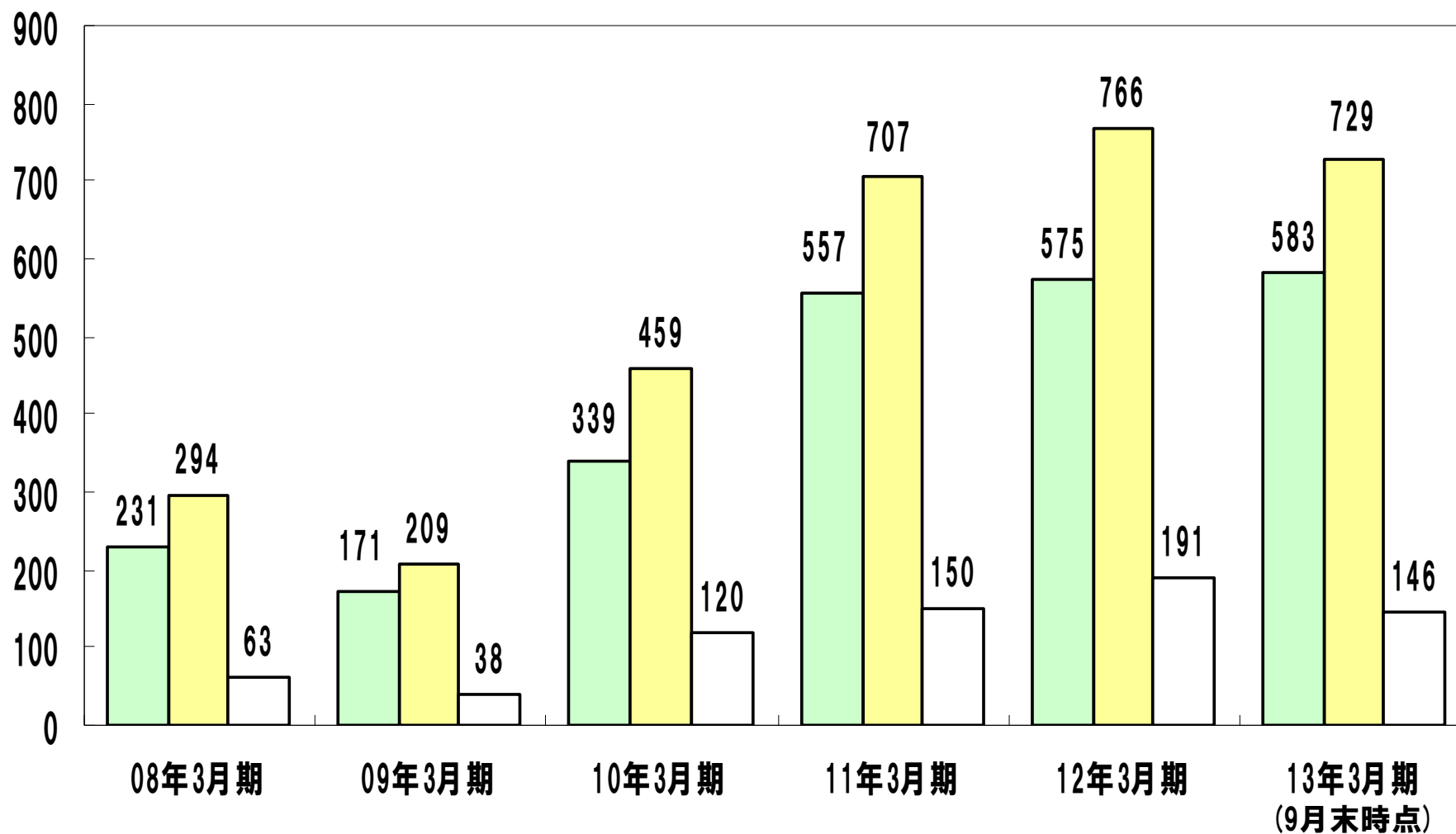
有利子負債と現預金

単位：億円

■ 有利子負債

■ 現預金・短期有価証券

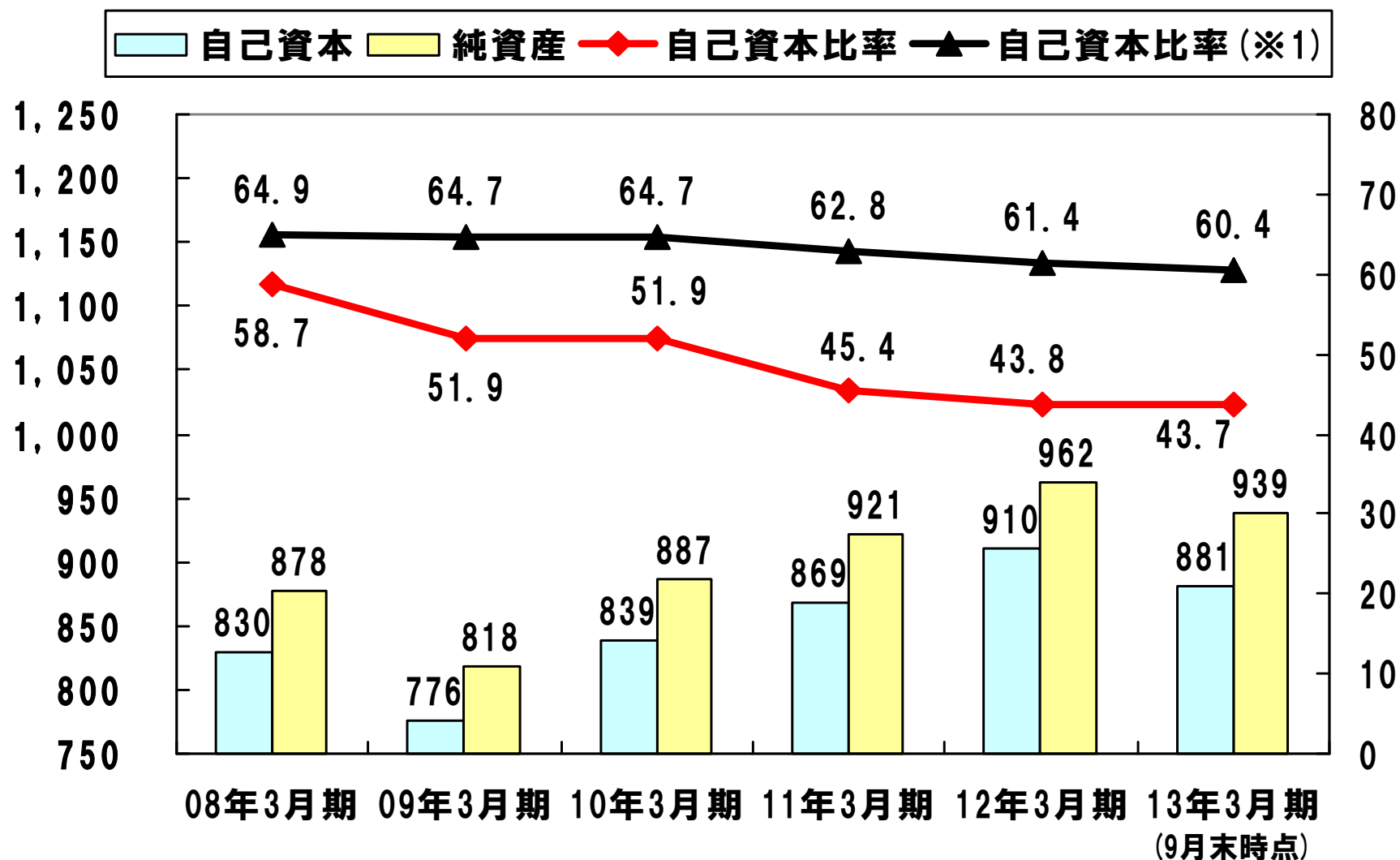
□ ネットキャッシュ



2013年3月期 第2四半期

自己資本比率

単位：億円 （自己資本比率(※1)は、外貨預金に相当する円貨借入れを除いた場合の比率) 単位：%

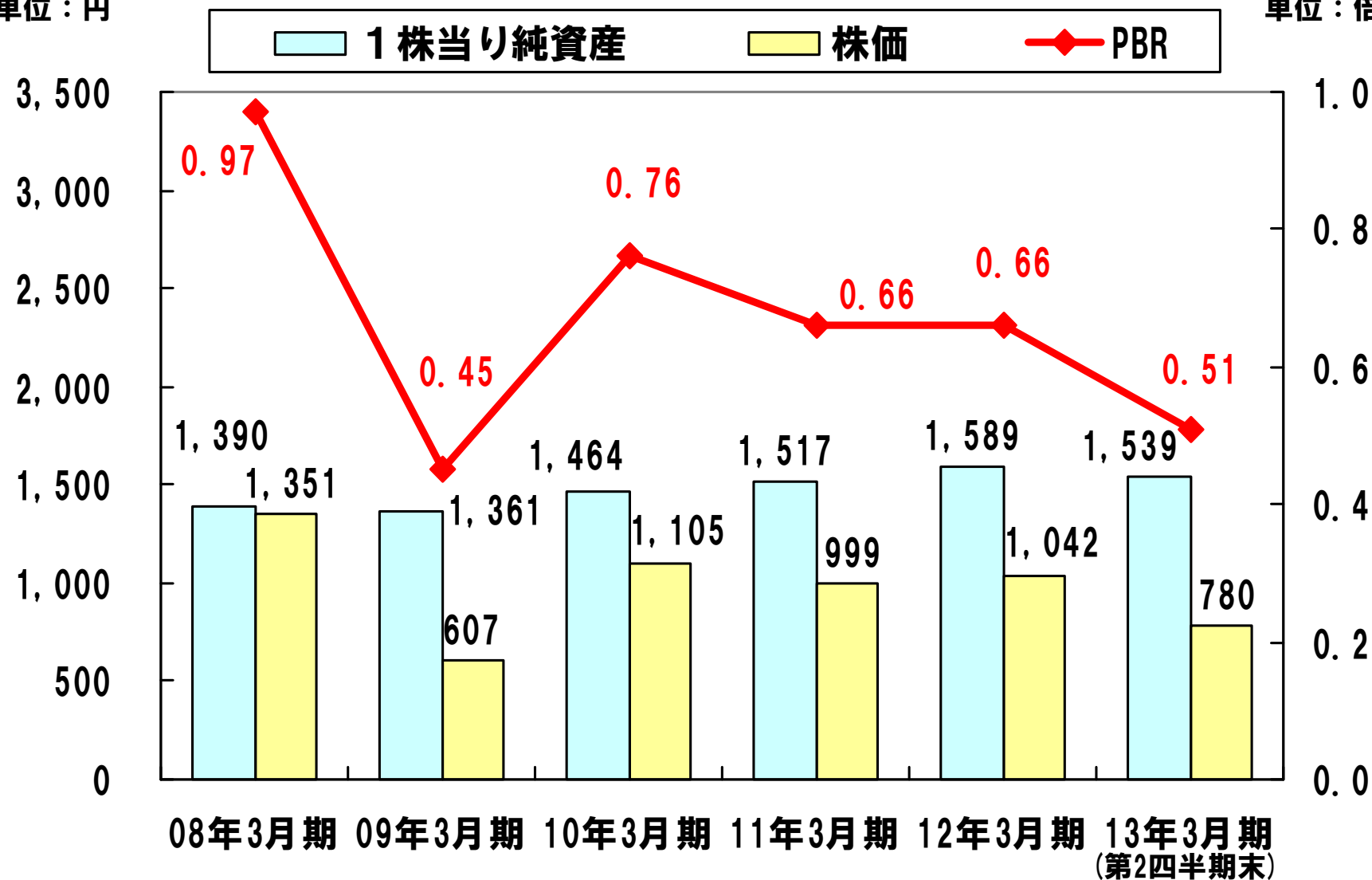


2013年3月期 第2四半期

P B R（株価純資産倍率）

単位：円

単位：倍



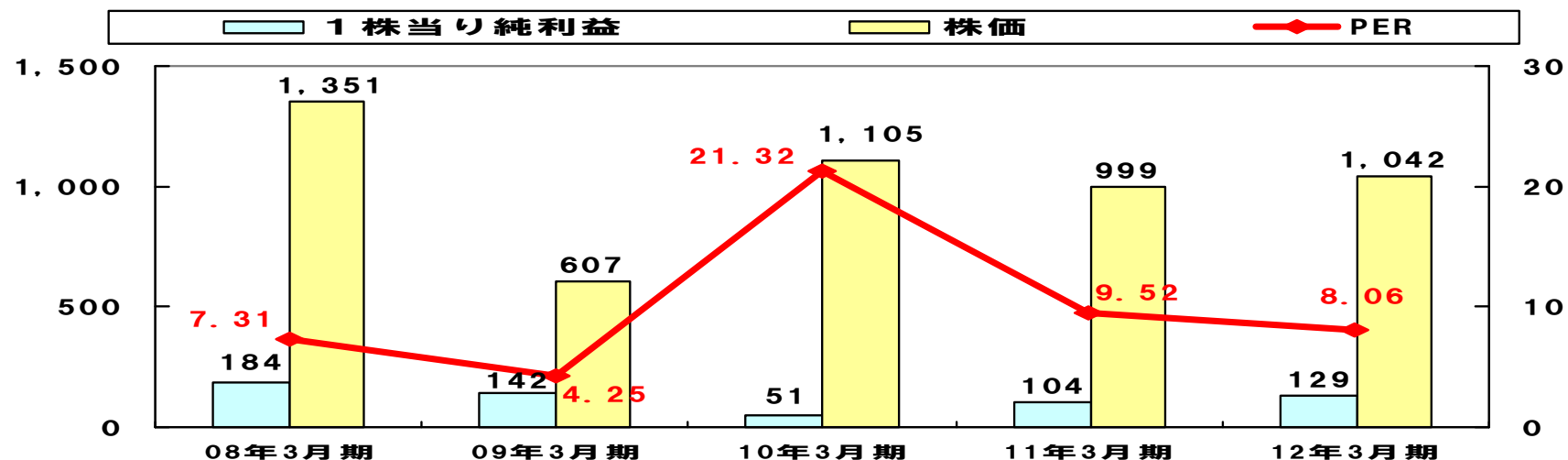
2013年3月期 第2四半期

PER（株価収益率）PCFR（株価キャッシュフロー倍率）

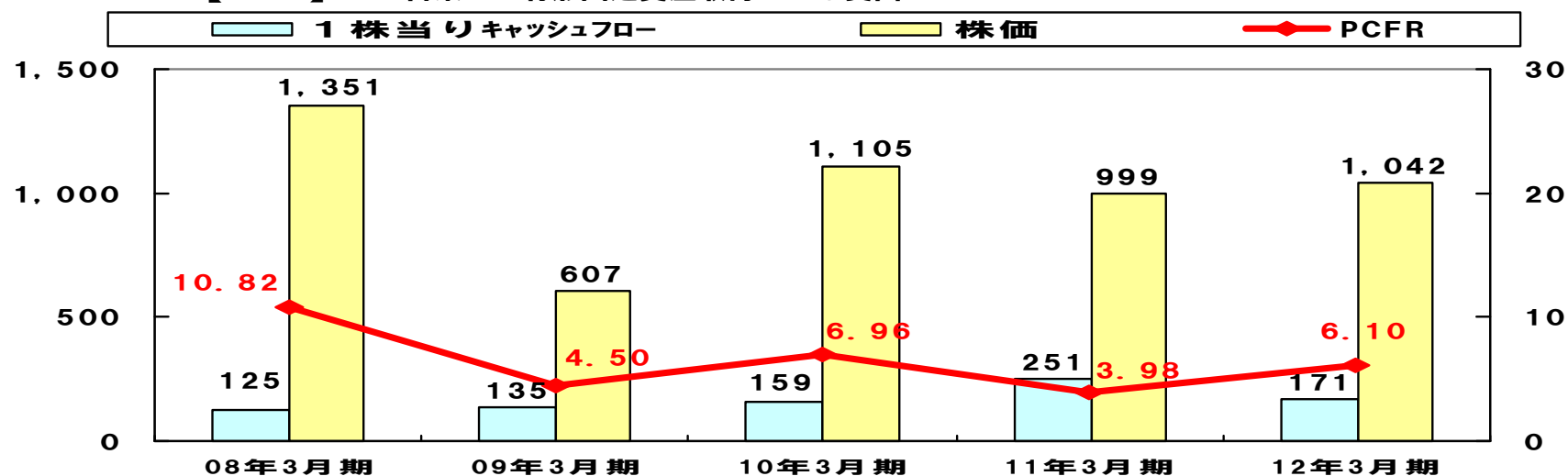
単位：円

【PER】

単位：倍



【PCFR】 CF＝営業CF－有形固定資産取得による支出



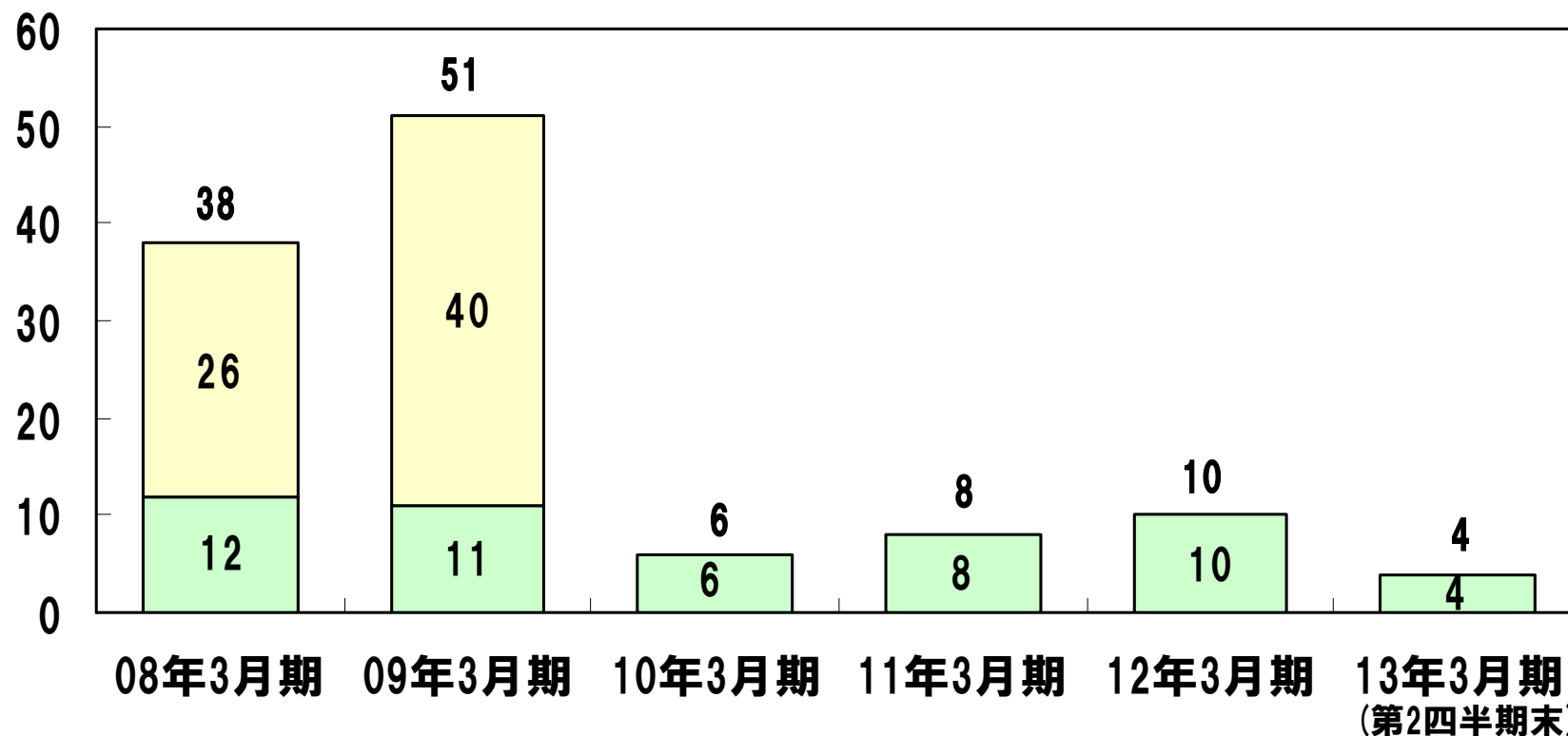
2013年3月期 第2四半期

株主還元

単位：億円

■ 配当金総額

■ 自社株取得額

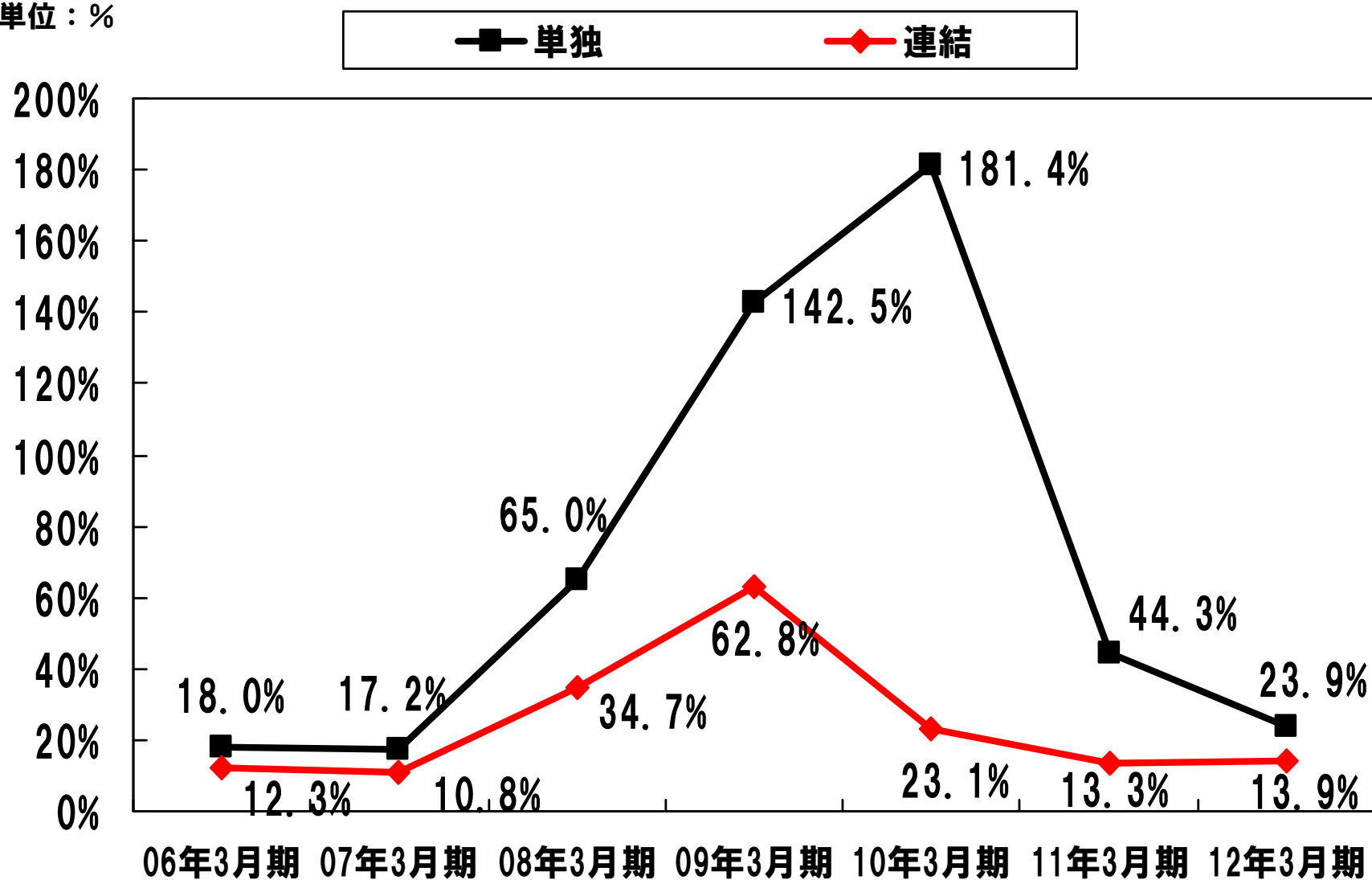


単位：円

配当金	21.00	19.50	12.00	14.00	18.00	7.00
-----	-------	-------	-------	-------	-------	------

総配分性向（単独・連結）

単位：％



2013年3月期予想

単位：百万円

	13年3月期 第2四半期 (実績)	13年3月期 (5月15日公表値)	進捗率
売上高	93,082	175,000	53.1%
営業利益	5,836	8,000	72.9%
経常利益	5,001	10,000	50.1%
当期利益	2,817	5,500	51.2%
一株利益	49.18円	96.01円	—

2013年3月期 業績予想修正

単位：百万円

	13年3月期 (5月15日公表値)	13年3月期 (業績予想修正後)	増減額
売上高	175, 000	180, 000	+ 5, 000
営業利益	8, 000	10, 000	+ 2, 000
経常利益	10, 000	11, 000	+ 1, 000
当期利益	5, 500	6, 000	+ 500
一株利益	96. 01円	104. 74円	+ 8. 73円

本⽇ご説明する内容

◇ 2013年3⽉期 第2四半期 決算概要

◇ 中長期成長戦略

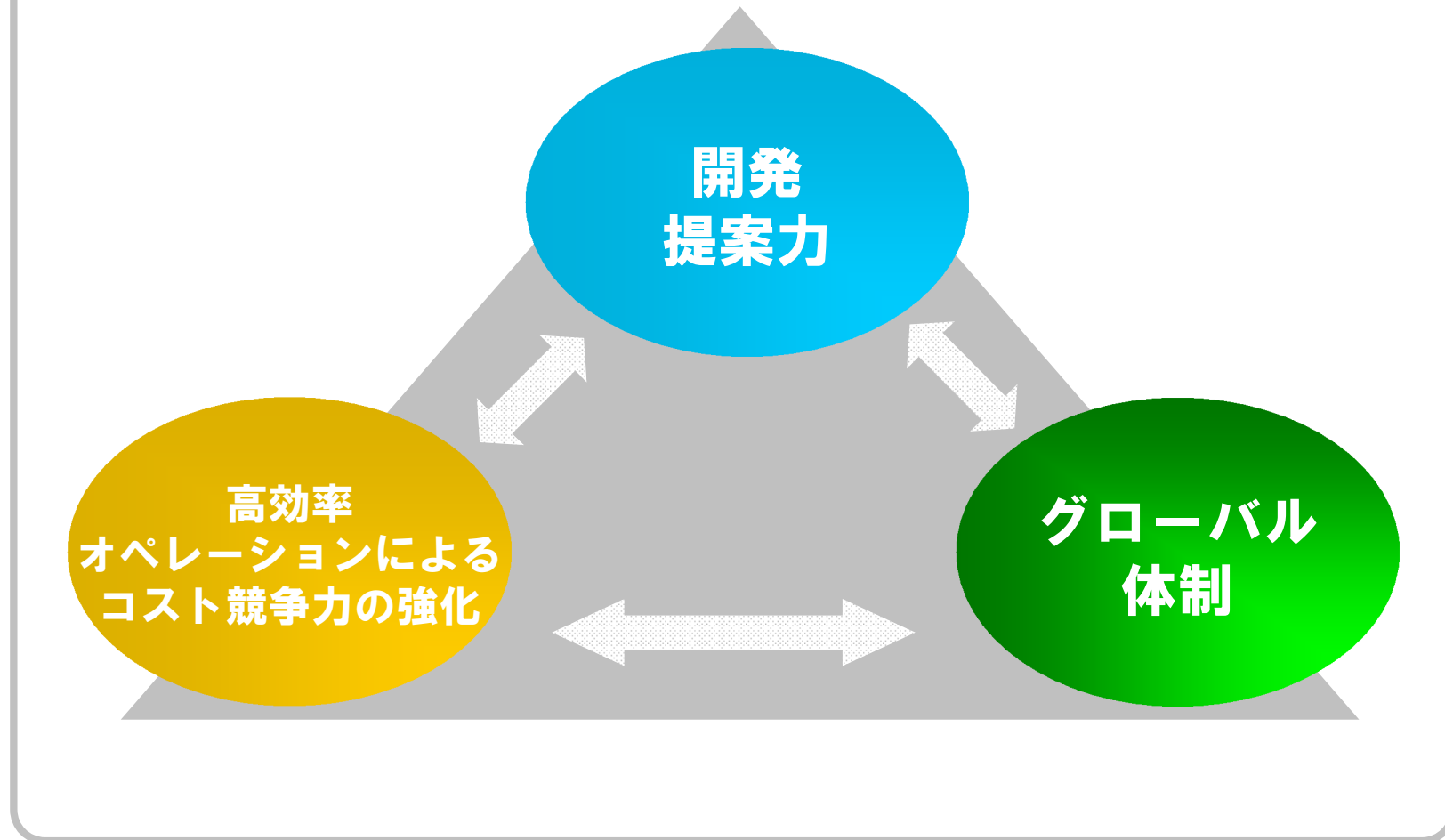
開発提案力

グローバル体制

高効率オペレーション

中長期成長戦略

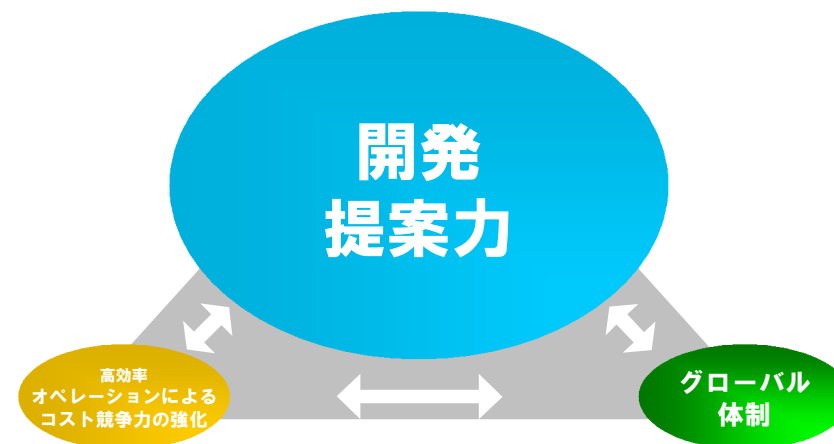
もの造り総合力の強化



中長期成長戦略

もの造り総合力の強化

(1) 開発・提案力の強化



先行技術開発の強化による市場の創造

- ① HUD（ヘッドアップディスプレイ）の開発・拡販
- ② 次世代自動車インパネの開発・提案
- ③ ディスプレイ技術の開発・拡販

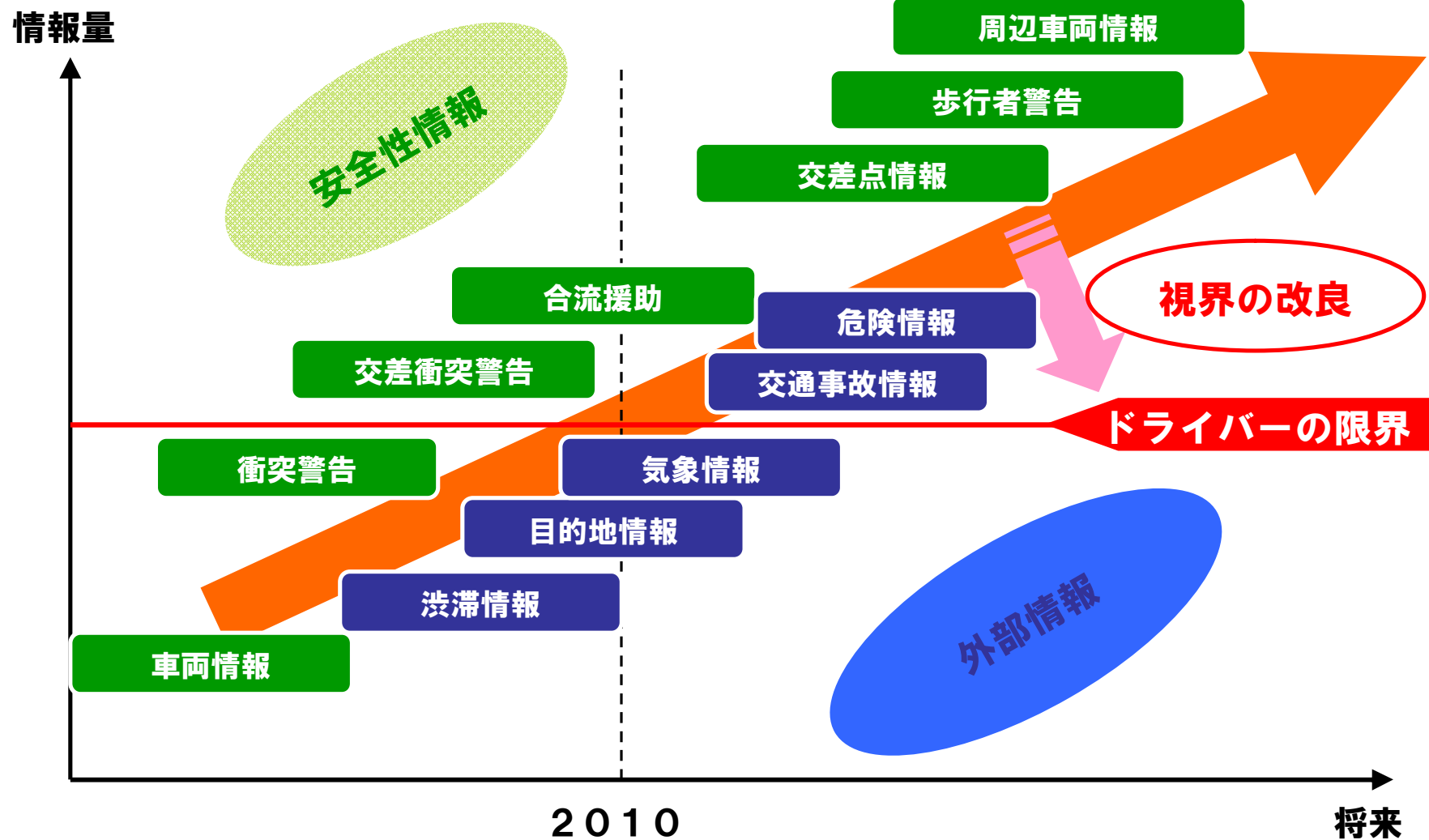
開発提案力

グローバル体制

高効率オペレーション

HUD（ヘッドアップディスプレイ）の開発・拡販

- 安全性向上や燃費志向により必要な情報は増加 -



次世代自動車インパネの研究・開発・提案

HUD

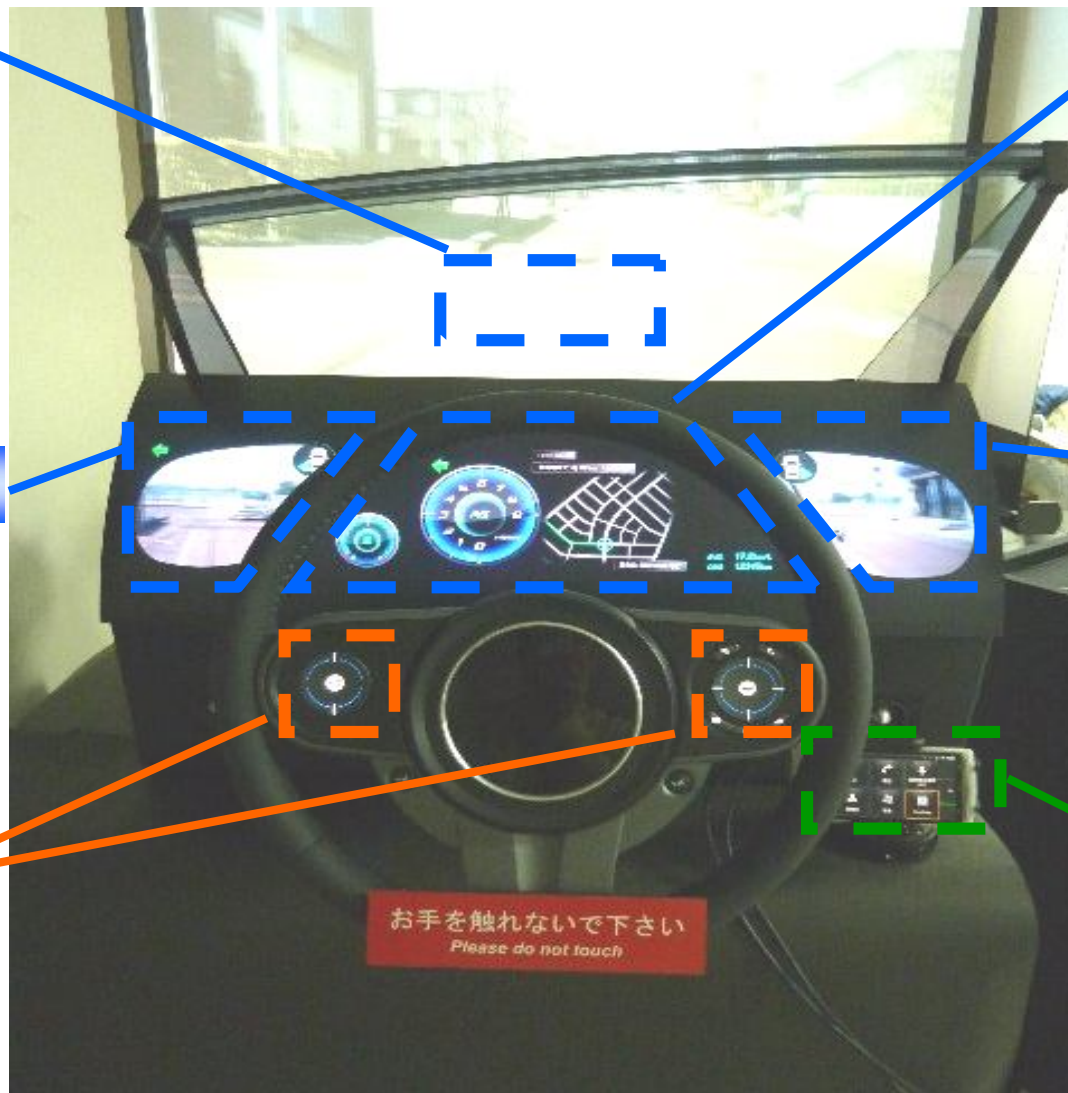
- ・ 車速
- ・ エアコン、オーディオ
- ・ ワーニング、簡易ナビ

インパネ (左)

- ・ 電子ミラー画像
- ・ フロント死角補助画像

操作スイッチ

- ・ HUD表示の調整
- ・ スマホの操作
- ・ メーターの操作



インパネ (中央)

- ・ 回転数、残燃料、距離
- ・ ナビ地図
- ・ スマホ連携画面
- ・ 車両診断情報

インパネ (右)

- ・ 電子ミラー画像
- ・ 渋滞情報
- ・ 施設混雑情報 等

スマートフォンとの連携

- ・ ナビ、地図
- ・ Audioソース
- ・ 音声検索

ディスプレイ技術の開発・拡販

- 開発品 -

C-NVA（カラー垂直配向LCD）

パッシブLCDの最上位仕様としてTFTにない特徴を持つカラーLCDを開発。
白黒LCDに色を付加することで、情報量・表現力を大幅に向上させる。



特徴

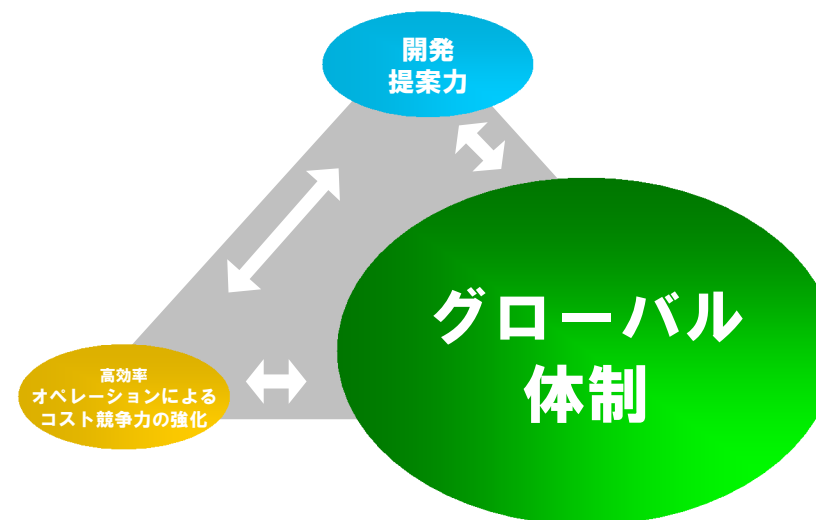
- ①サイズフリー/形状フリー
- ②TFTに比べ周辺回路の簡素化によりコストダウン
(GDC, RAM, ROM不要)

FPDInternational 2012 出展

中長期成長戦略

もの造り総合力の強化

(2) グローバル体制の強化

成長市場・大規模市場への積極展開による
計器のシェア拡大

- ① インド・アセアン地域のオペレーション
- ② 米州における生産体制の最適化
- ③ 設計開発体制の整備強化

開発提案力

グローバル体制

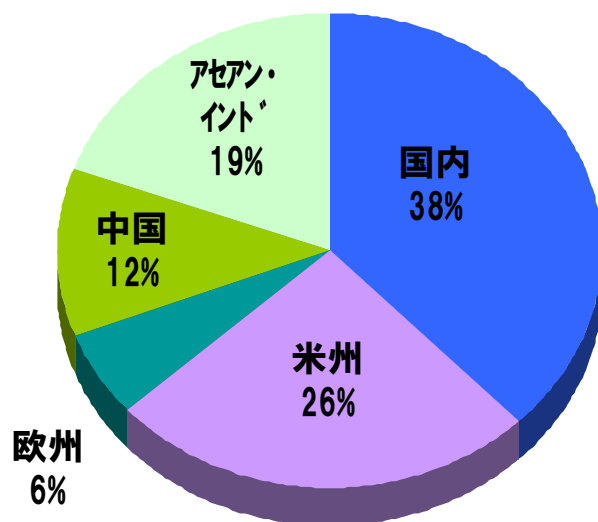
高効率オペレーション

生産台数

13年3月期 生産台数予測

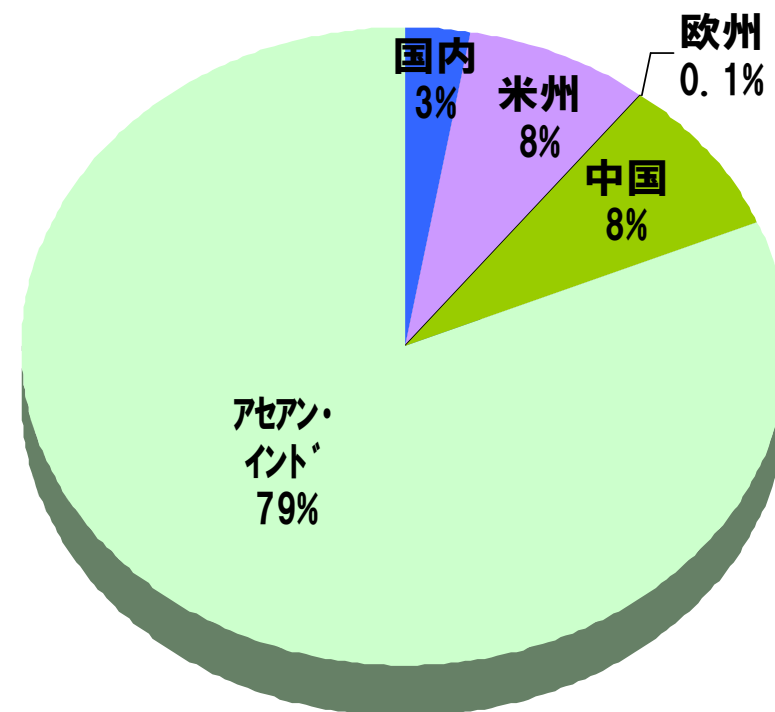
四輪

グローバル 1,036 万台
海外 62% 643 万台
国内 38% 393 万台



二輪

グローバル 1,927 万台
海外 97% 1,872 万台
国内 3% 55 万台



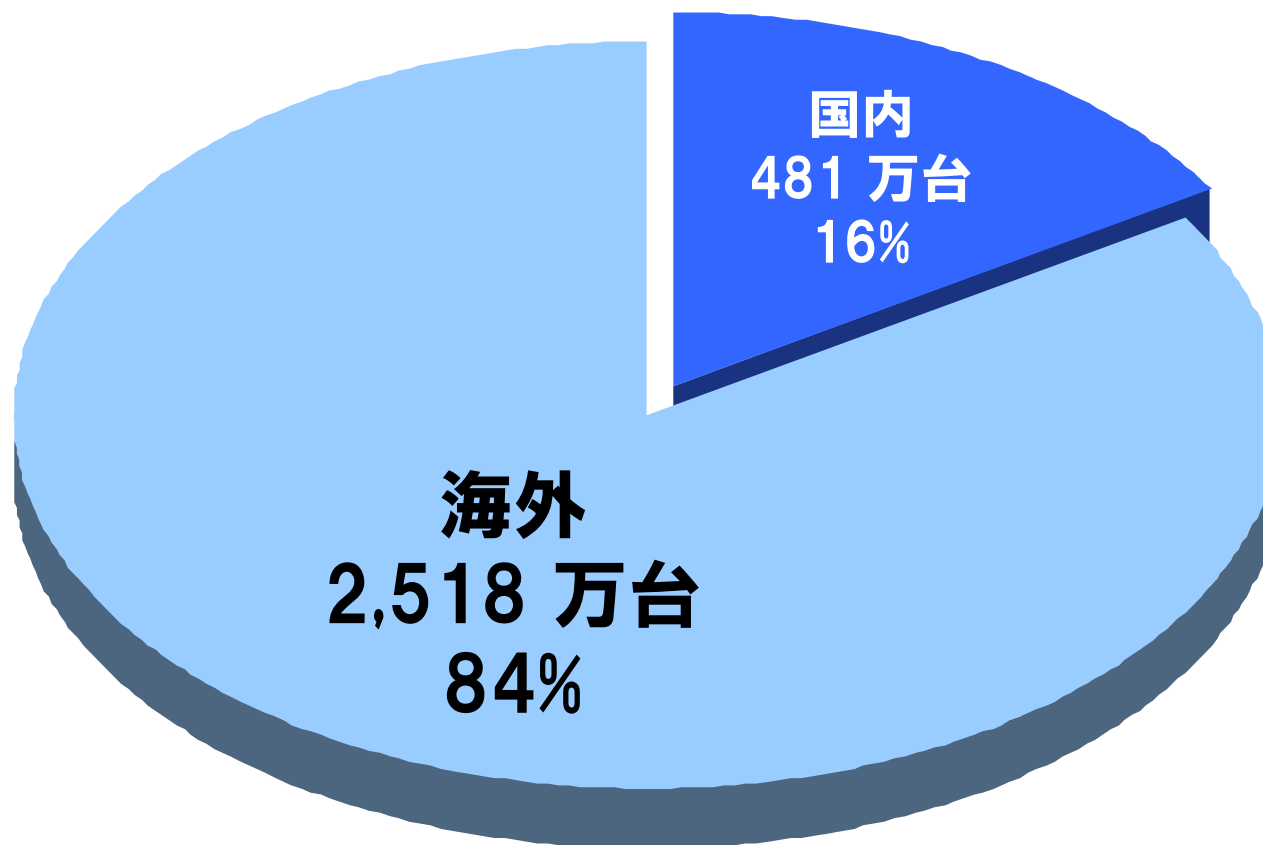
開発提案力

グローバル体制

高効率オペレーション

生産台数

13年3月期 生産台数予測



四輪・二輪・汎用計器 グローバル生産台数 約3,000万台

開発提案力

グローバル体制

高効率オペレーション

インド・アセアン地域のオペレーション

ー市場動向ー

二輪：市場の成熟と競争激化

四輪：中間層の所得増を背景に中期的には成長

● 日本精機グループ

JNS (インド)

中期市場動向

二輪	四輪
	

NSIP (インド)

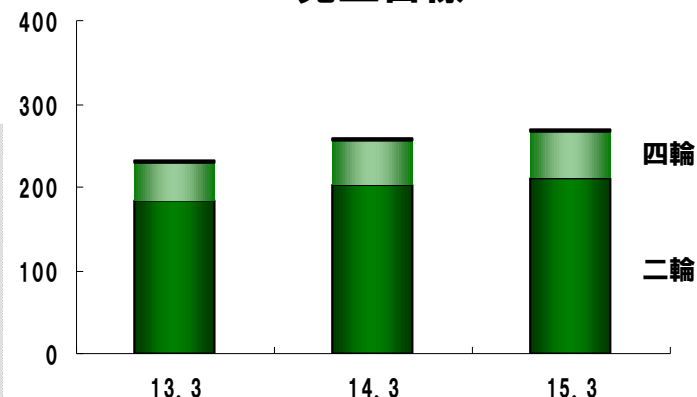
さらに利益を出す体制構築

域内で生産補完を行い投資を最小化

二輪電気式メーター移行にあたり
プラットフォーム化で原価率低減

(億円)

売上目標



二輪



VNS (ベトナム)

中期市場動向

二輪	四輪
	

TNS (タイ)

中期市場動向

二輪	四輪
	

INS (インドネシア)

開発提案力

グローバル体制

高効率オペレーション

北米における生産体制の最適化

NS I



営業・設計

NS II



最終組立

NSMX

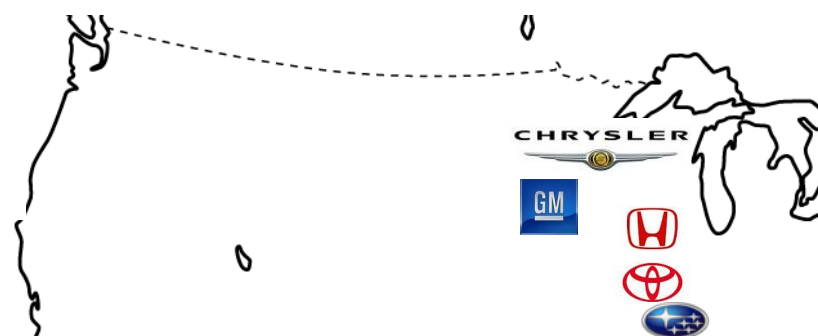


基板実装・最終組立

NSVM



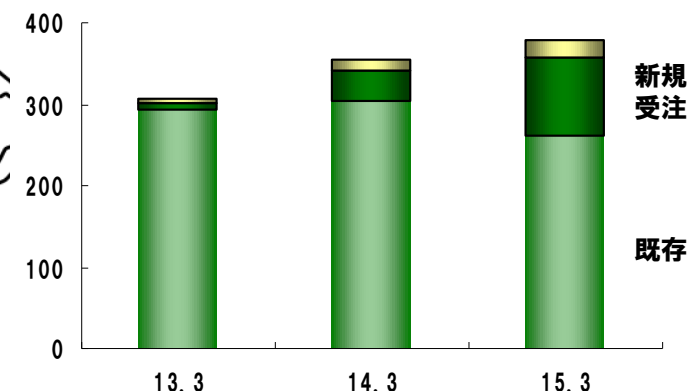
部品生産



供給

(億円)

売上目標



メキシコにおける生産能力の拡大
北米へ部品供給、更に現地調達率を高め
コストダウンを強力に推進

北米市場拡販

メキシコ工場での四輪計器
13年度最終組立開始

設計開発体制の整備強化

今後さらにシェアを伸ばしていくために海外メーカーへの開発提案力を強化

●：設計拠点

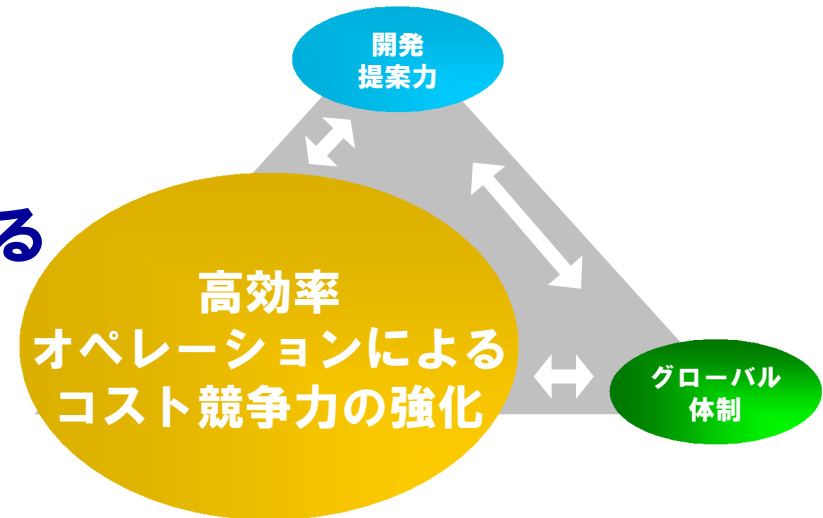


- ・ 現地顧客とコミュニケーションできる人材の育成と発掘
- ・ 本社と協力し仕事を行える仕組み構築

海外顧客により近い場所で設計開発を行うことにより
レスポンスを早め、より強固な関係を築く。

中長期成長戦略

もの造り総合力の強化

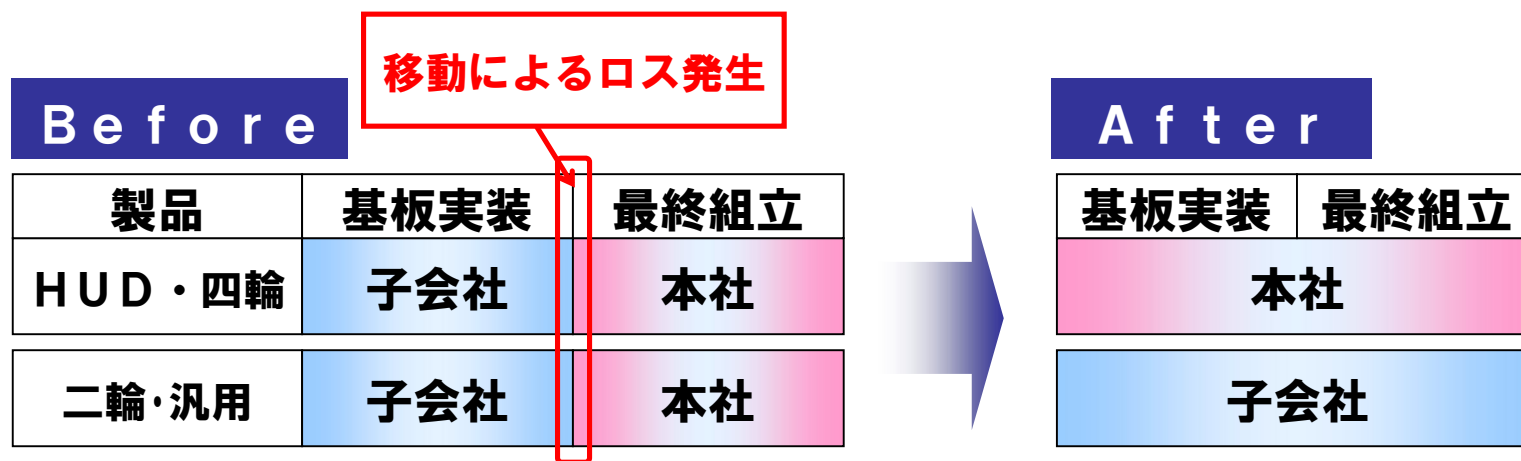
(3) 高効率オペレーションによる
コスト競争力の強化複雑化する業務の高度な「仕組み化」による
競争優位の確立

- ① 相互補完によるグループの連携強化
- ② 国内製造拠点の最適生産レイアウト
- ③ バックオフィス機能統合

国内製造拠点のレイアウト再編

<狙い>

- ・ 難度の高いヘッドアップディスプレイの増産に対応するためのスペースを捻出するとともに、生産ラインを再配置することにより、物流・在庫等のロスを低減する。



基板の実装から最終組立までを一気通貫で生産することにより、リードタイム短縮、物流費低減、在庫の低減を実現。

開発提案力

グローバル体制

高効率オペレーション

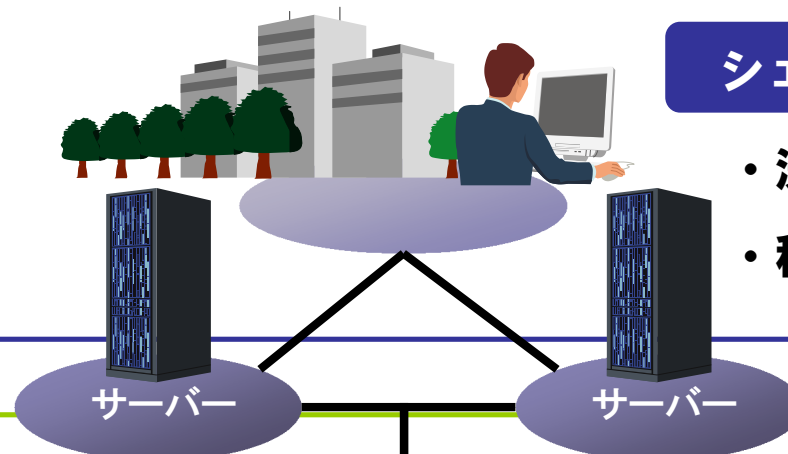
バックオフィス機能統合

本社

- ・ 支払管理業務
- ・ 資金管理業務
- ・ 月次決算処理

シェアードサービス機能

- ・ 決算処理
- ・ 税務申告（連結納税）



2013年 中国・北米 基幹システム統合

2013年 シェアードサービス導入
(会計・給与計算・情報システム)

2013年 経理システム統合

2014年 勤怠管理システム統合

仕事のプロセスを標準化し、経理等の事務機能を本社に集約する。

中国リスクについて

- ・ 尖閣諸島に端を発した中国における一連の騒動による影響ですが、当社グループの工場及び従業員については特に大きな問題はなく、また、日本車不買の影響は四輪計器に限定されているのが現状です。
- ・ 当社グループの連結売上高に占める中国での四輪計器の売上高は、前年度実績で約４％であり、今回の業績修正の中には日本車の不買運動による影響を含んでいます。